

林忠彦は戦後、焼け跡の中から「太宰治」「坂口安吾」など無頼派の生の群像をとらえ世に出て以来、「日本の作家」「カストリ時代」「東海道」などが国の写真史に残る重厚な作品を次々に発表、生涯にわたって新しい写真表現に挑み続けました。時代を物語る写真、それこそが林忠彦の写真でした。林忠彦賞は時代とともに歩む賞です。林忠彦の精神を継承し、未来を切り開く写真家を見いだすことを目的に、林忠彦賞はさらなる高みにむかって歩み続けていきます。

対 象：右の条件①、②を満たすもの：
 ①2025年1月1日～12月31日に写真展、写真集、雑誌、公募等の表現媒体ですでに発表された作品
 ②受賞記念写真展を開催する関係上、同一テーマで35枚以上から70枚程度までの写真で構成された作品

フリガナ		生年月日		男 ・ 女		勤務先・学校名・職業			
氏 名		西暦 年 月 日 (明・大 昭・平 年)				歳			
フリガナ						連絡先(携帯電話など速やかに連絡が取れるもの)			
〒(—)									
住 所 都 道 府 県						メールアドレス			
略 歴									
フリガナ		プリント枚数 ※写真集、雑誌等の場合は カット数		写真展	会期		プリント枚数	発行日	カット数
タイトル					西暦 年 月 日～ 年 月 日		枚	西暦 年 月 日 誌名	
		枚		写真集	会場		公募	発売日または展示会期	プリント枚数
					西暦 年 月 日 コンテスト名				
作品の返却 (○で囲んでください)		A.返却を希望する(着払いの宅配便) B.返却を希望しない		写真集	発行日		カット数	※応募条件を満たすもののみ記入してください。	枚
					西暦 年 月 日 出版社				
主 旨									